

# 朝日大学病院を受診された患者さまへ

## 研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされております。このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	化学療法が抗腫瘍免疫能に及ぼす影響の検討
当院の研究責任者 (所属)	歯科口腔外科 准教授 笠井 唯克 (歯科口腔外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔外科学分野 講師 長縄 鋼亮
本研究の目的	化学療法が抗腫瘍免疫能に及ぼす影響を検討することで、化学療法後に免疫チェックポイント分子に対する分子標的療法が著効する仕組みを探る。
調査データ該当期間	2023年2月1日～2025年3月31日
研究の方法(使用する 資料等)	朝日大学病院歯科口腔外科を受診され血液検査を行った患者様の検査後に残余した微量(約0.3 mL)の血液を用いて、白血球細胞亜集団の解析および試験管内刺激培養により産生されるサイトカインを解析する。化学療法を受ける予定の患者を対象とする。
試料/情報の他の機関 への提供	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔外科学分野
個人情報の取扱い	完全に匿名化し外部と途絶したPCにて保管します。 研究結果の公表においても個人が特定されることはありません。 また研究以外での目的で情報を使用することはありません。
本研究の資金源(利益 相反)	朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔外科学分野から配分される研究費によって実施。利益相反は生じない。
お問い合わせ先	研究者代表 朝日大学病院 歯科口腔外科 准教授 笠井唯克 (058-253-8001)
備 考	